

がためふ忠良も。國情恰も深謬にして。むる者ひの紫冷うちじが光秀叛  
逆するを。義信これふ謀を。右無歸地小妻を呼び。不復や女今  
のあれ。叛逆人の娘されば。武士の妻ともてん縁故あり。せく遠而を去廻し。  
光秀ひとりの守膝。池田六左衛門。一色家右衛門。齋田治左衛門。修に抜けを丹  
波北國三戸野といふ山里まで送り帰せり。三戸野の義経。細川又子が義経の女  
ど娘。夫人がとふ感想。一々。其後天正二年のま秀吉公の命れ  
ようて轍の如く迎へて室とさせり。

## 繪本豊臣勳功記五編卷之八終